

至：山本不動尊キャンプ場

途中でスマホの電源が入らない。地図も落とす。PM3:30頃、いけないと思いつつ、沢の音に誘惑され沢を歩くことに。19:30頃キャンプ場の標識が目に入った。

至：登山口

地図アプリ履歴途切れる

道迷いが分かったので戻る

ルートは推測



スマホが、どういうわけか電源が入らない。仕方なく、地形図は持っていたので、コンパスと高度計を利用して戻りました。途中、写真を撮ったりしているうちに今度はサイドポケットに入れておいた地形図を落としてしまいました。時刻はすでにpm3:30を回っており、あまり時間をかけることができない時間帯。

明るいうちに少しでもと歩いた方に、沢の音。迷って沢スジに入るのは危険との認識はあったものの、もはや戻れる感じではなくなり、沢に降り立ちました。その後、やや深いところで靴に侵入したので、そこからはもうどうでもよくなり川の中を沢靴のような感じで歩きました。3～4時間、行けども行けども人工物が目にはいらず、薄暗くなり始めた19:30頃、ようやく山本不動尊第2キャンプ場と書かれた標識が目に入りました。ここなら携帯が通じるかとも思い、取り出したら案の定アンテナが3つ立って家に電話することができました。(HP参照)

道迷いの不思議は、沢を歩いてはいけないと思っけていても、沢の音を聞いたら誘惑に負け、沢を歩いてしまう。尾根を登ってきたのだから尾根を下らないといけない。分かっけていても違う行動を取ってしまう。道迷いは冷静ではいられないのだ。夕方が近づいてくる焦りもあったのだろう。気をつけたい。